

生徒指導の3つの機能を生かした授業づくり！



(積極的な) 生徒指導を意図的に全教職員が進めましょう。特に日常の教育活動の中心となる授業で、生徒指導の中核となる生徒指導の3つの機能「**自己決定の場を与える**」「**自己存在感を与える**」「**共感的な人間関係を育成する**」を生かし指導しましょう。

こんな授業で子どもの姿勢は変わります！

生徒指導の3つの機能	こんな授業です	具体的には
自己決定の場を与える授業	自ら課題を見つけそれを追究し、自ら考え、判断し、表現する授業	<ul style="list-style-type: none"> ・思考場面や観察場面で、考えたり、観たりする視点を示す。 ・自分の考えや思考過程が分かるようなノートを取り方を指導する。
自己存在感を与える授業	生徒一人一人に学ぶ楽しさや成就感を味わわせることができる授業	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に意欲を見せない子どもや学業が振るわないような子どもにも、学習に向かえる配慮をする。 ・子どもの実態を把握し、授業のどの場面でどの子どもを生かすか工夫する。
共感的な人間関係を育む授業	お互いに認め合い、学び合うことができる授業	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人を受け入れて褒め、子どもの人間性を認めながら指導する。 ・教師主導にならず、子どものテンポに合わせてながら授業をすすめる。



《全ての児童・生徒に【出番】を与える》

一人一人の児童・生徒が、各教科の時間に、自分の考え方、感じ方をもって (**自己決定**)、それをみんなの前に示す (**自己存在感**)。そして、児童・生徒はたがいに相手を受容していく (**共感的な人間関係**)。これを日々の授業の中で行うことで、子どもの姿勢は変わります。